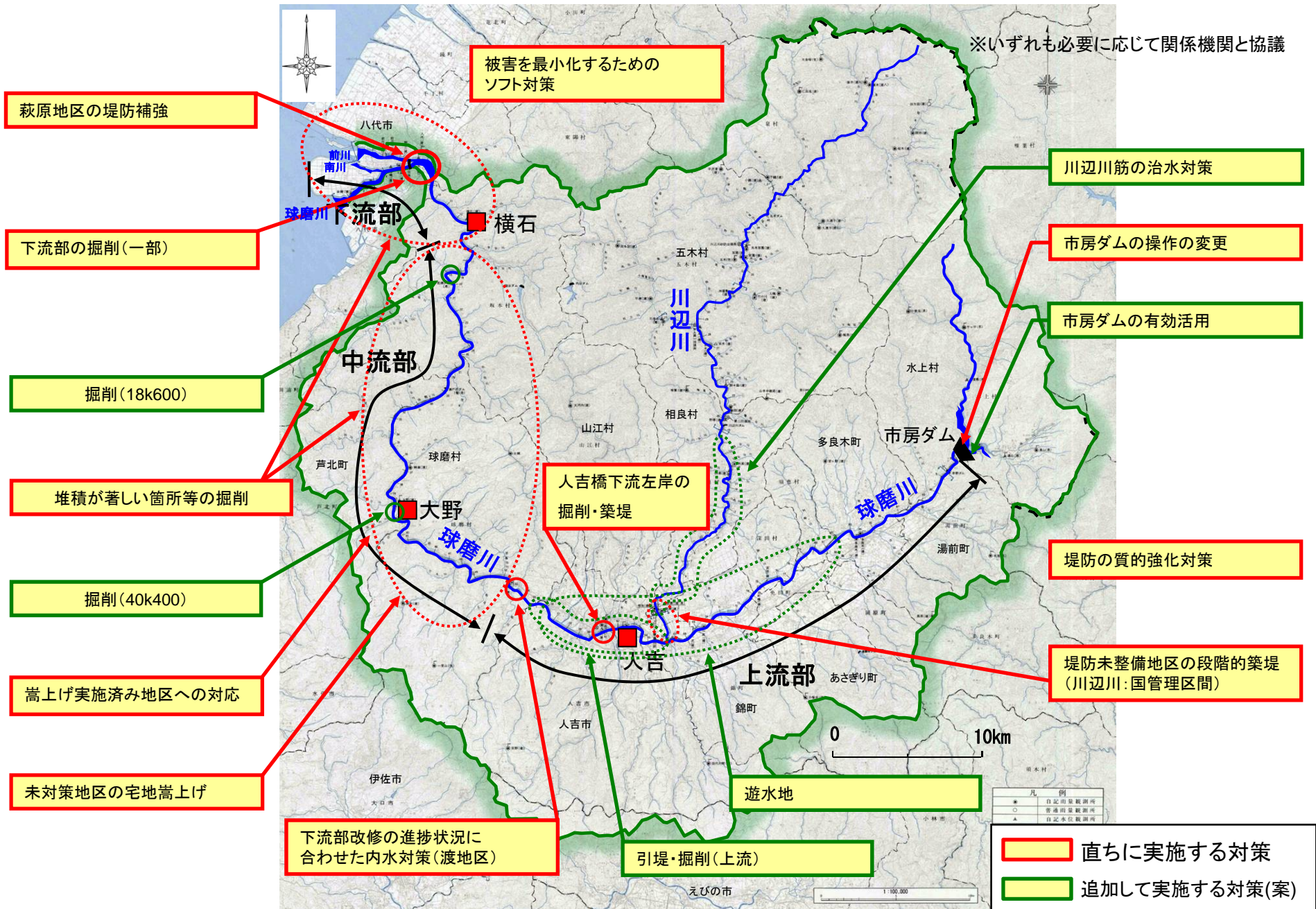


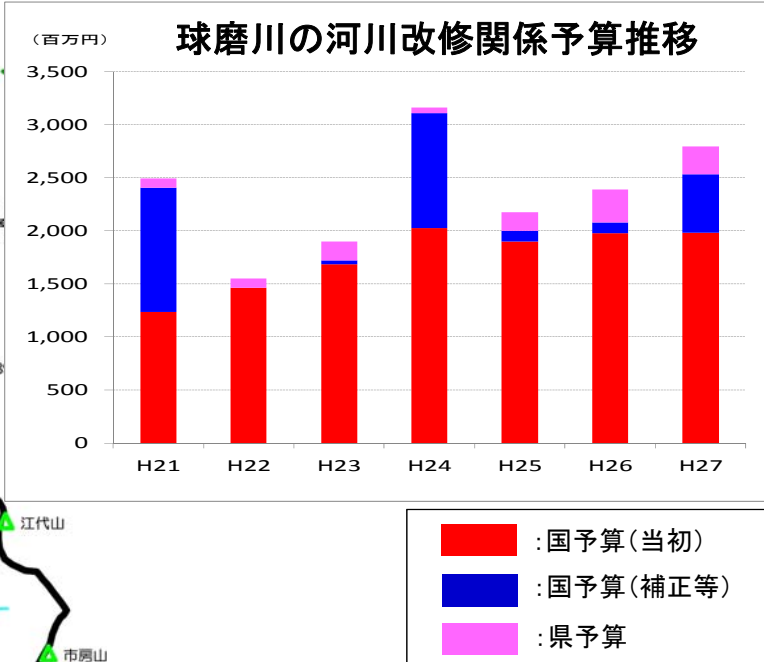
球磨川治水対策協議会
第1回 整備局長・知事・市町村長会議
説明資料

「検討する場」で積み上げた対策の進捗状況

平成28年2月2日

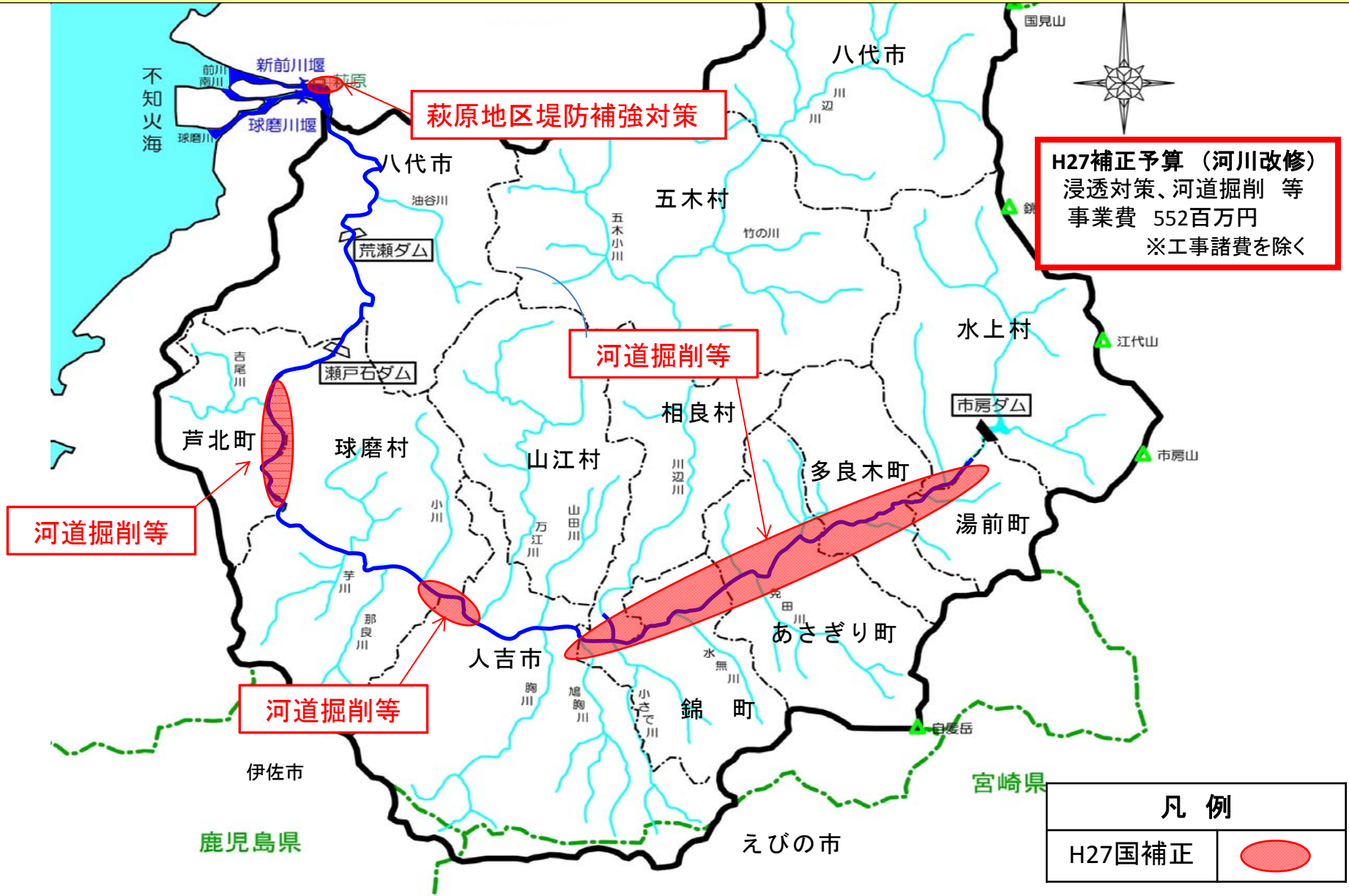
国土交通省 九州地方整備局
熊 本 県





凡例	
H27国当初	○
H26国補正	○
H27県	○

- 堤体の安全性を段階的に向上させる対策として堤防補強等を実施
- 近年著しく土砂堆積の進行や樹木が繁茂し、流下能力が低下している箇所において河道掘削等を実施



萩原地区堤防補強対策

H27補正予算 (河川改修)
 浸透対策、河道掘削等
 事業費 552百万円
 ※工事諸費を除く

河道掘削等

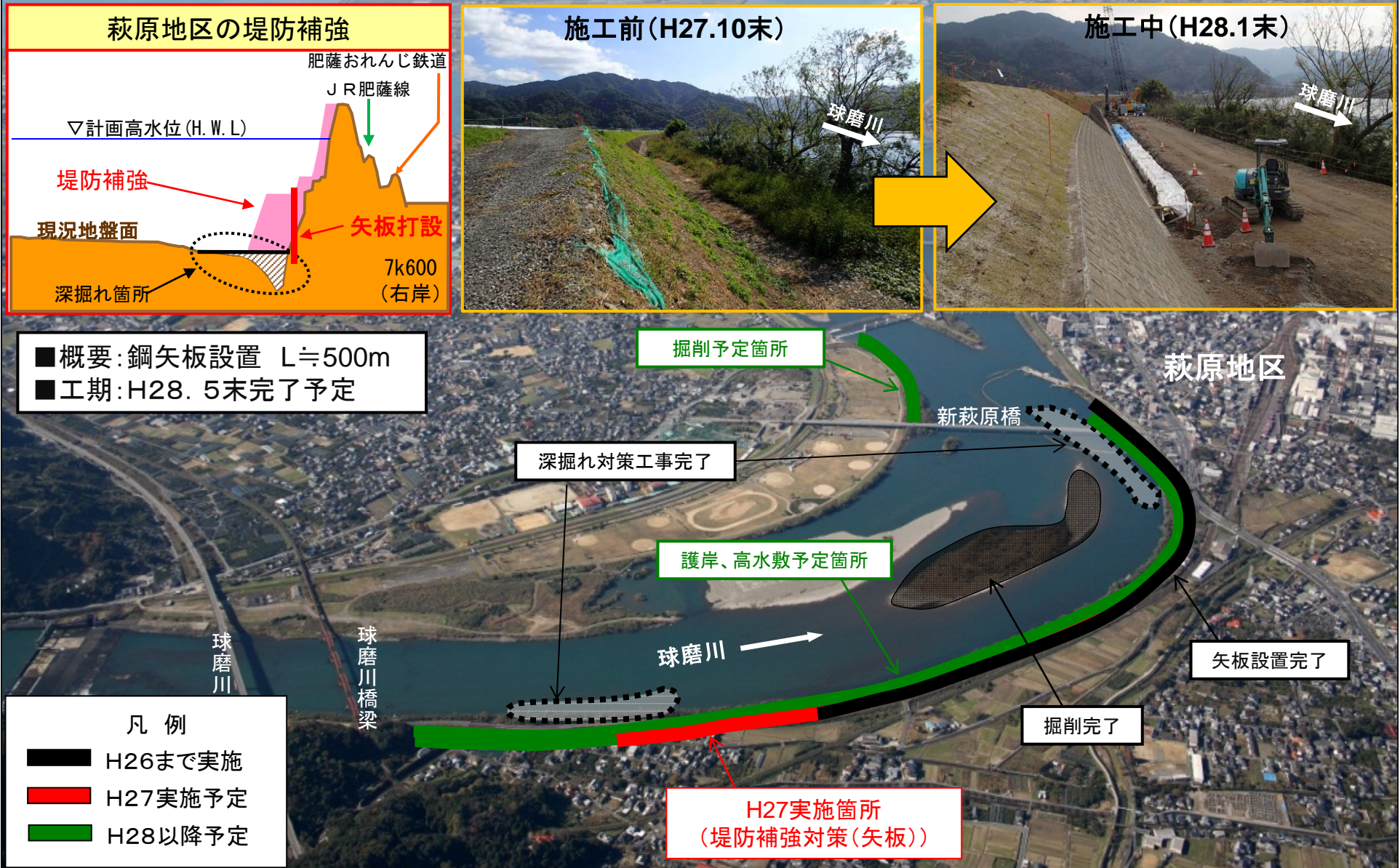
河道掘削等

河道掘削等

凡例	
H27国補正	

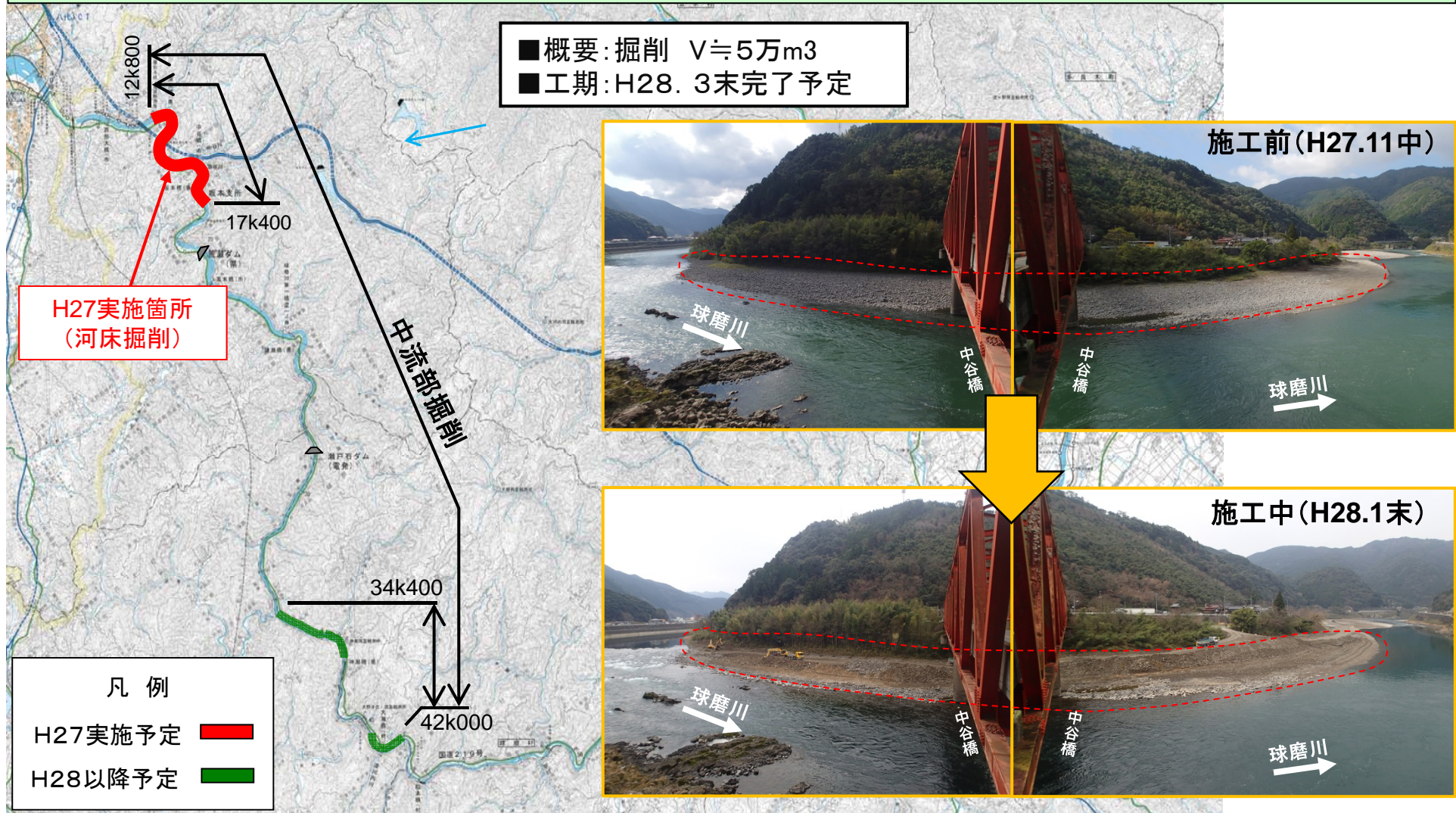
「直ちに実施する対策」 - 萩原地区の堤防補強

- ①堤防前面が深掘れしていた箇所、根固め等の投入による深掘れ対策を実施し、平成22年に概ね完了。
- ②堤防断面が不足している箇所の、堤防補強対策を平成23年より実施中。



「直ちに実施する対策」 - 堆積が著しい箇所等の掘削

- 球磨川中流部は、ほとんどが山間狭窄部で川沿いの限られた平地に地域が立地し、近年(H16, H17, H18, H20, H23)においても浸水被害が発生している。これらの地区では家屋嵩上げ等の治水対策を実施しているものの、戦後最大規模の昭和40年7月洪水相当の洪水が発生すると、既に家屋嵩上げ等改修を完了した箇所であっても浸水する可能性がある。このため、昭和40年7月規模相当の洪水を家屋敷(概ねHWL)以下の水位で流下させることを目的とし、河道掘削により河積拡大を図る。



未対策地区の築堤・宅地嵩上げ(鎌瀬(左)地区)

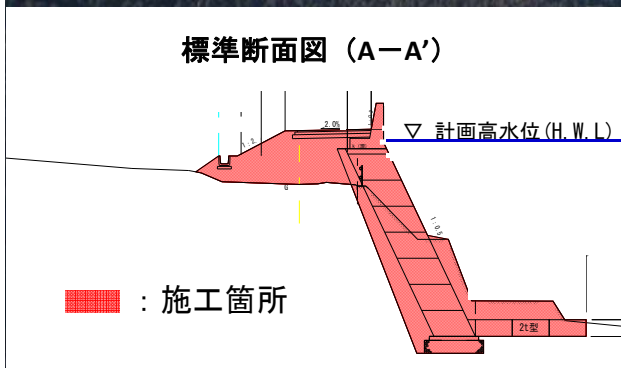
「直ちに実施する対策」 — 未対策地区の宅地嵩上げ

- ・ 当地区は、球磨川中流部の荒瀬ダム湛水区間に位置し、昭和57年、平成5年、7年、18年出水の際に浸水被害を受けている地区であり、宅地の嵩上げ及び県による道路嵩上げと併せた築堤を実施中。



鎌瀬橋

- 概要: 築堤 L≒300m
- 工期: H28.3末完了予定

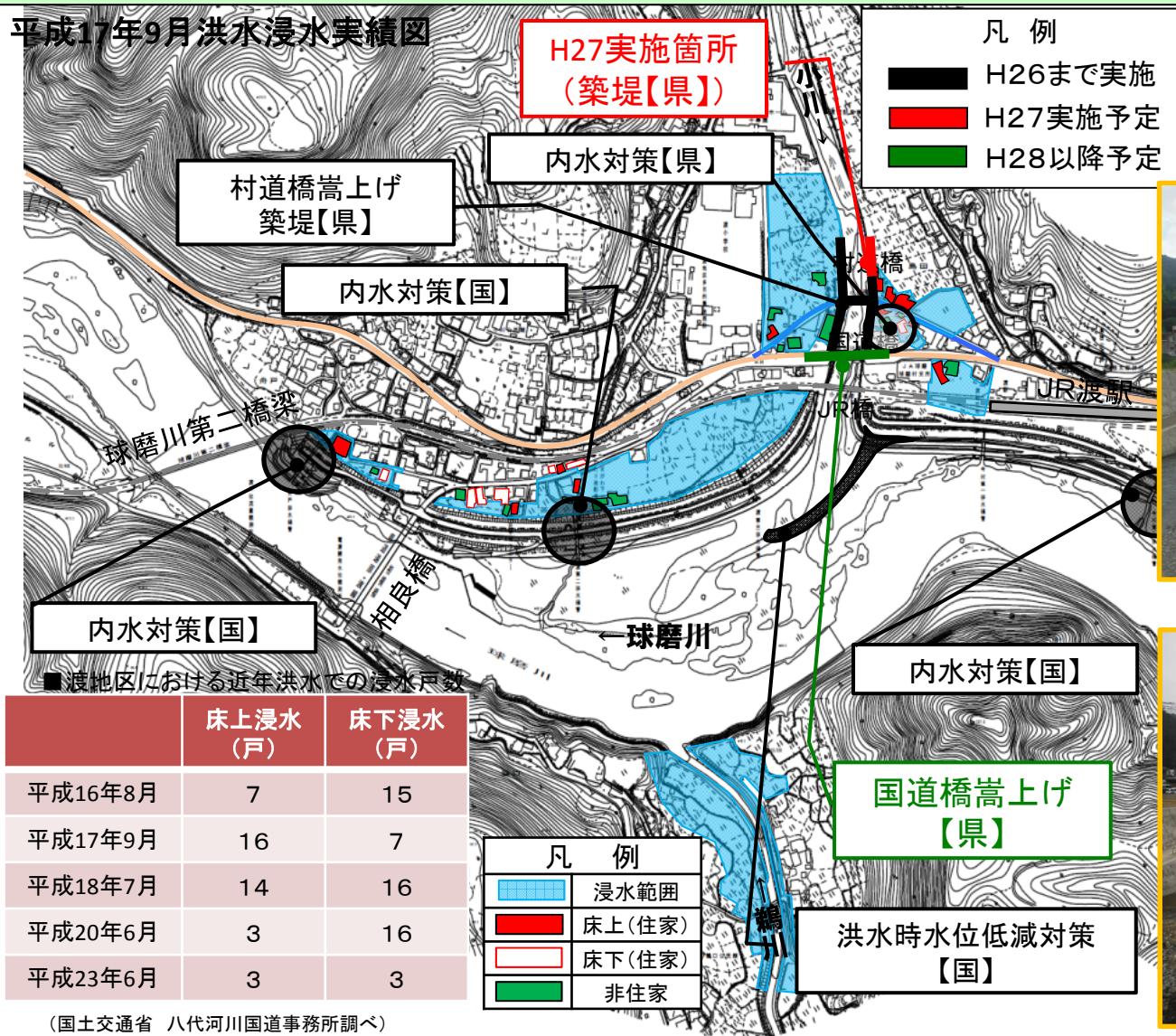


下流改修の進捗状況に合わせた内水対策(球磨村地区)

「直ちに実施する対策」－ 下流部改修の進捗状況に合わせた内水対策(渡地区)

・近年、頻繁に内水被害が生じている球磨村渡地区において、国・熊本県・球磨村の適切な役割分担の下、球磨川の下流側の河川改修等の進捗を踏まえた総合的な内水対策を実施しており、国施工の導流堤、可搬式ポンプは完了。県施工の築堤を実施中。

平成17年9月洪水浸水実績図



凡例
 ■ H26まで実施
 ■ H27実施予定
 ■ H28以降予定

■ 概要: 築堤 L=74m
 ■ 工期: H28. 3末完了予定



■ 渡地区における近年洪水での浸水戸数

	床上浸水(戸)	床下浸水(戸)
平成16年8月	7	15
平成17年9月	16	7
平成18年7月	14	16
平成20年6月	3	16
平成23年6月	3	3

凡例
 ■ 浸水範囲
 ■ 床上(住家)
 ■ 床下(住家)
 ■ 非住家

(国土交通省 八代河川国道事務所調べ)

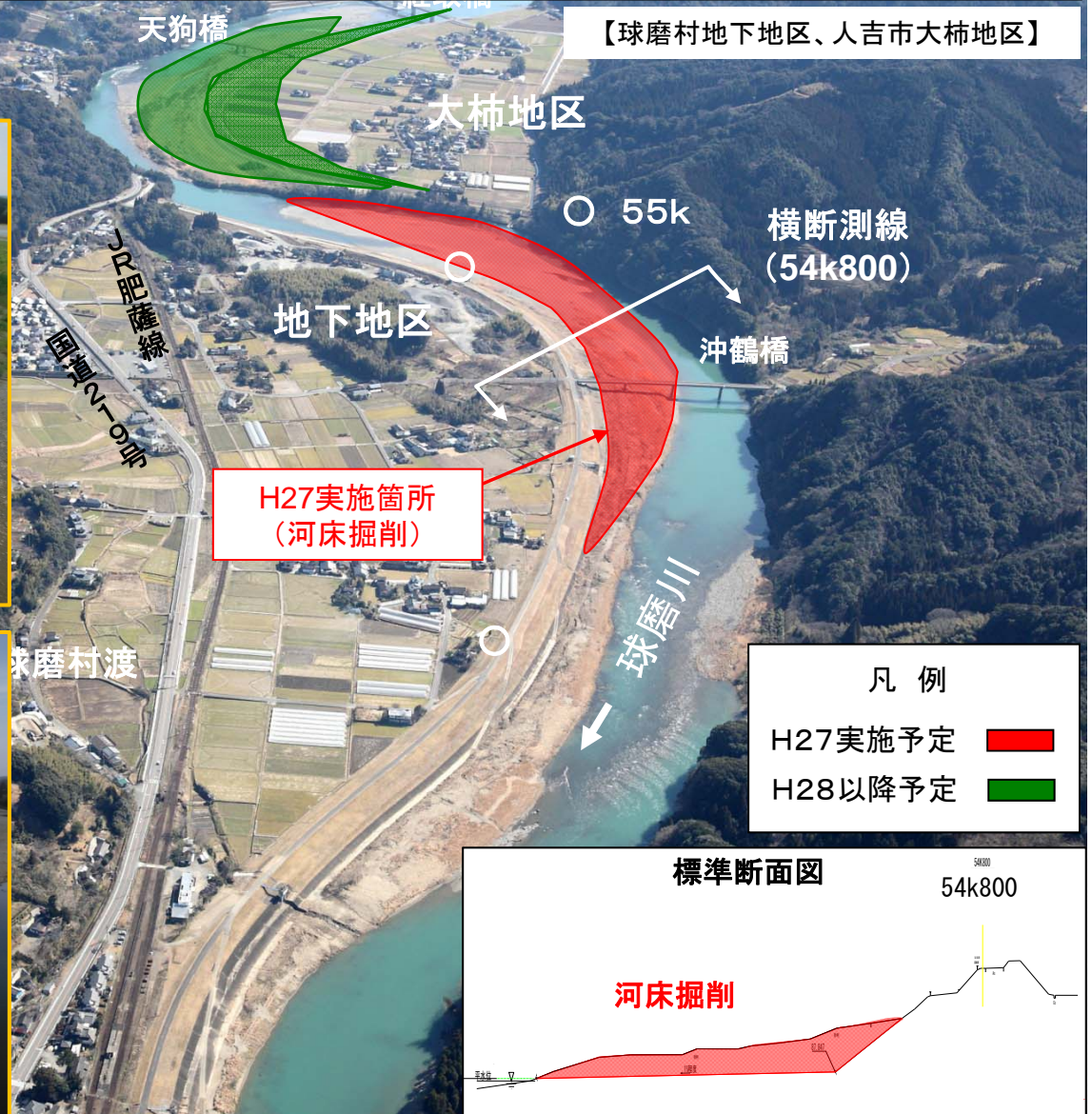
上流(人吉市周辺)の掘削・引堤

「追加して実施する対策」 - 上流(人吉市周辺)の掘削・引堤

- ・ 人吉市域の下流端の地下・大柿地区における掘削・引堤に関し、用地交渉や工事用測量等の事業に必要な作業を進めつつ、地域の理解が得られたものから、一部掘削に着手する。
- ・ 掘削は生物の生息環境等に配慮し、平常時水が流れている水位より上高い部分の掘削を行う。

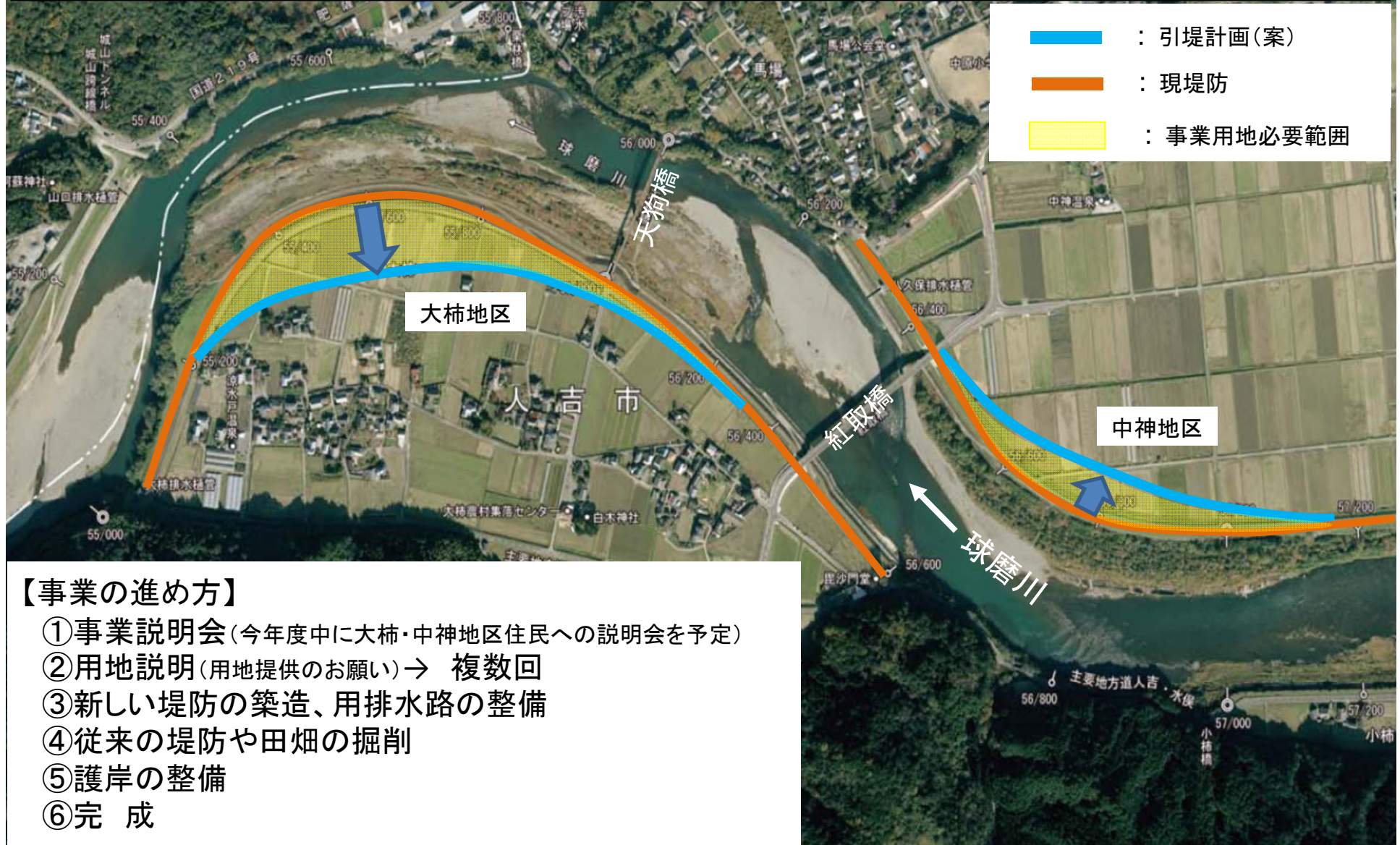
■ 概要: 掘削 $V \approx 7.7$ 万 m^3

■ 工期: H28. 3 末完了予定



「追加して実施する対策」 - 上流(人吉市周辺)の掘削・引堤

- ・ 人吉市域の下流端の大柿・中神地区における掘削・引堤に関し、用地交渉や工事用測量等の事業に必要な作業を進めつつ、地域の理解が得られたものから、一部掘削に着手する。
- ・ 掘削は生物の生息環境等に配慮し、平常時水が流れている水位より上高い部分の掘削を行う。



- : 引堤計画(案)
- : 現堤防
- : 事業用地必要範囲

【事業の進め方】

- ① 事業説明会(今年度中に大柿・中神地区住民への説明会を予定)
- ② 用地説明(用地提供のお願い) → 複数回
- ③ 新しい堤防の築造、用排水路の整備
- ④ 従来の堤防や田畑の掘削
- ⑤ 護岸の整備
- ⑥ 完成

○事業概要

「ダムによらない治水を検討する場」共通認識に基づき、熊本県として、球磨川水系の洪水から人命を守り、財産被害の最小化を図るため、河川整備等のハード対策の着実な推進に加え、流域市町村が行う防災・減災ソフト対策等に対して、補助金を交付するもの

《 期 間 》 平成27年度から（10年程度）

《 補助率 》 2／3

《 財 源 》 熊本県球磨川水系防災減災基金 $\left(\begin{array}{l} \text{総額10億円を積立てる予定} \\ \text{平成26年度2億円積立済み} \end{array} \right)$

《補助対象》 球磨川水系の水害対策に資する事業

《今年度予算》 1億円

平成27年度は、9,700万円余を交付決定済み、

流域全12市町村で、地域の実情に応じ、各種事業に取り組まれている。

平成27年度の主な取組状況

○水防資機材、備蓄物資等の整備

衛星携帯電話



備蓄物資



拡声器



避難誘導棒

